

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-502159 (P2001-502159A)

【公表日】平成 13 年 2 月 13 日 (2001.2.13)

【出願番号】特願平 11-511884

【国際特許分類】

H 0 2 M 3/28 (2006.01)

H 0 2 M 7/21 (2006.01)

【F I】

H 0 2 M 3/28 F

H 0 2 M 7/21 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 8 日 (2005.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年 6月 8日

特許庁長官 小川 洋 殿

1 事件の表示

平成11年 特許願 第511884号

2 補正をする者

名 称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス
エヌ ヱィ

3 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号
霞山ビルディング7階 電話(3581)2241 番(代表)

氏 名 (7205) 弁理士 杉 村 興 作



4 補正対象書類名 請求の範囲

5 補正対象項目名 請求の範囲

6 補正の内容 別紙の通り

審査



1. 請求の範囲を以下の通りに補正する。

「 請 求 の 範 囲

1. 整流ダイオードと；制御電極と、第1の主電極および第2の主電極との間の主電流路とを有し、該主電流路が前記整流ダイオードと並列に結合されたトランジスタと；前記トランジスタの制御電極に結合された制御回路とからなる同期整流器であって、

前記制御回路は、前記トランジスタの第1の主電極に結合された第1の入力と、前記トランジスタの第2の主電極に結合された第2の入力と、前記トランジスタの制御電極に結合された出力とを有する増幅器を含み、基準電圧源が前記増幅器の入力、すなわち前記第1および第2の入力の少なくともひとつと直列に結合されていることを特徴とする同期整流器。

2. 前記トランジスタの制御電極に結合された第1の入力と、前記トランジスタの主電極のひとつに結合された第2の入力と、2値の制御信号を供給するための出力とを有する比較器をさらに含み、他の基準電圧源が前記比較器の入力、すなわち前記第1および第2の入力の少なくともひとつと直列に結合されている、ことを特徴とする請求の範囲第1項に記載の同期整流器。

3. 請求の範囲第1項または第2項に記載の同期整流器を含む電源であって、

該電源は、さらに、誘導性素子と、入力電圧を出力電圧に変換するため前記誘導性素子に結合されたスイッチング手段とを含むことを特徴とする電源。

4. 前記電源は、さらに、セット／リセットフリップフロップを含み、該セット／リセットフリップフロップはセット入力とリセット入力とを有し、そのセット入力またはリセット入力のいずれかが前記比較器の出力に結合され、かつ該セット／リセットフリップフロップは前記スイッチング手段に結合された出力を有する、ことを特徴とする請求の範囲第3項に記載の電源。

5. 前記電源は、さらに、第1および第2の端子を有する抵抗であって、前記スイッチング手段に直列に結合される抵抗と；さらに他の基準電圧源と；前記セット入力またはリセット入力のいずれかに結合される出力を有し、かつ前記のさら

に他の基準電圧源を介して前記抵抗の第1および第2の端子間に結合される第1および第2の入力を有する、さらに付加された比較器とを含む、ことを特徴とする請求の範囲第4項に記載の電源。

6. 前記誘導性素子は、前記入力電圧を受けるための1次巻線と前記出力電圧を供給するための2次巻線とを有する変圧器からなる、ことを特徴とする請求の範囲第3項、第4項、または第5項に記載の電源。

7. 整流素子を含む電子回路であって、該整流素子が、請求の範囲第1項または第2項に記載の同期整流器によって実現されていることを特徴とする電子回路。」